



塩崎厚生労働大臣に直談判!

子育て支援や介護環境の整備を!

- 第1の矢 「希望を生み出す強い経済」**
- ① 医療分野のイノベーション・ICT化の推進
 - ② 医療の国際展開・国際保健への貢献
 - ③ 観光先進国の実現・TPPの推進
- 第2の矢 「夢をつむぐ子育て支援」**
- ① 待機児童の解消
 - ② 女性・若者の活躍推進
 - ③ 総合的子育て支援の推進
- 第3の矢 「安心につながる社会保障」**
- ① 介護の環境整備
 - ② 障害者・難病・がん患者等の活躍支援
 - ③ 地域共生社会の実現

- 働き方改革+生産性向上**
- ① 非正規雇用の待遇改善・最低賃金の引き上げ
 - ② 長時間労働の是正
 - ③ 高齢者・障害者等の活躍促進

成長と分配の継続

7月21日~25日 国後島、色丹島にて



安倍政権は、新たな対ロシアの経済協力を進め、北方領土を巡る交渉の進展を目指している。そんな中、今夏に田畑は北方領土問題対策協議会主催の北方四島訪問交流事業に団員として参加。国会議員3名と共に元島民、島民2世の方々や返還運動従事者、内閣府など政府関係者など総勢60名で4泊5日の行程で、国後島、色丹島を訪問。いわゆる「ビザなし交流」としての渡航であり、我が国固有

の領土でありながら日本国民が自由に往来できない現状を肌身で感じた視察だった。両島では現地の地方政府関係者のみならず、ホームビジットによる一般住民との意見交換や柔道教室による児童との交流を行い、相互理解に努めた。訪問を通じて返還運動の決着に一層、決意を強くするものであった。

▲行政府庁舎にてソロムコ南クリル地区長と

たばたのひとこと



今夏の参議院選挙において自民党は選挙区37議席、比例区19議席、合計56議席を獲得。改選前とあわせて121議席となりました。安定した政治基盤に基づき、私自身、地方創生、働き方改革、社会保障制度づくりに引き続き取り組んで参ります。

たばた ひろあき
衆議院議員 田畑 裕明

- 国会等での所属 たばた裕明**
- ・厚生労働委員会委員
 - ・決算行政監視委員会委員
 - ・消費者問題に関する特別委員会委員
 - ・自民党厚生労働部会副部長
 - ・自民党厚生関係団体委員会副委員長
 - ・自民党外務部会副部長
 - ・自民党雇用問題調査会幹事
 - ・自民党テレワーク推進特命委員会幹事
 - ・自民党青年局長学生部長

自由民主党 衆議院議員

ひびき新聞

ひろあき

たばた裕明

ひびき新聞

平成28年秋号

平成28年10月発行

最新の活動報告を公開中です。

facebook たばた裕明公式FB 随時UP中!

膠着した返還交渉を前進させよ

富山

▶平成28年富山市消防出初式にて

▲各後援会で国政報告会を開催

▲第12回富山市民体育大会相撲競技

▲四方赤十字奉仕団のみなさんと

▲第71回国民体育大会 岩手スキー国体 富山県選手団を激励

▲青年海外協力隊経験者の皆さんと意見交換

▼盆踊りも楽しみました

参院選 野上浩太郎氏

二回目の当選に貢献!

去る平成28年7月10日に行われた参議院選挙富山県選挙区において、野上浩太郎参議院議員が見事3回目の当選を果たした。田畑は、富山第一選挙区での総括責任者として富山市内での野上議員の選挙戦を牽引した。連日街頭演説や関連会議を主導し、議員や後援会役員、運動員らと総力を結集した結果、33万9055票の得票で他候補に圧倒的な差をつけての当選となった。

▲野上先生の激励に駆け抜けました

▲平成28年豊裕会 通常総会

▲えだまめ収穫をお手伝い

東京

▶加藤勝信大臣に同一労働同一賃金の考え方に関する要望書を提出

▲厚生労働委員会で質問

▲東京事務所では様々な皆さんと意見交換や勉強会を実施

▲熊本被ばく者支援募金を公認前自民党幹事長へ

▲日本・オーストラリア友好議員連誼総会に参加

▲たかき奈緒美自民党厚生労働部会長と連携し政策づくりを進めます。

たばた裕明プロフィール

昭和48年1月2日生まれ(43歳) 富山市北代在住。富山市立立岡小、呉羽中、県立富山東高校(野球部)卒業、獨協大学経済学部卒業、地元の銀行勤務(平成7~14年)、富山市議会議員連続3期当選(平成15~23年)、富山県議会議員(平成23~24年)、衆議院議員連続2期当選(平成24年~)

【資格等】宅地建物取引士、全日本スキー連盟公認スキー正指導員、富山市消防団長岡分団所属

〒939-8202 富山市西田地方町2丁目12-4 ケイ・ディックビル2階
TEL 076-421-1411 FAX 076-421-1422

〒100-8982 千代田区永田町2丁目1-2 衆議院第二議員会館214号室
TEL 03-3508-7704 FAX 03-3508-3454

第47回衆議院議員総選挙 (平成26年12月14日執行) 富山県第1選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自 民	70,085	57.44%
吉田 豊史氏	維 新	39,249	32.17%
高橋 わたる氏	共 産	9,795	8.02%

有権者数 262,477人 投票者数 147,772人 投票率 55.15%

第46回衆議院議員総選挙 (平成24年12月16日執行) 富山県第1選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
たばた 裕明	自 民	70,268	47.55%
村井 宗明氏	民 主	43,072	29.14%
吉田 豊史氏	無所属	24,370	21.24%
山田 哲男氏	共 産	7,023	4.75%

有権者数 262,560人 投票者数 122,009人 投票率 54.63%



▲「未来へのチカラ vol.1」衆議院議員 環境委員長 赤澤亮正先生を講師に迎えて
▲多くの方々と働き方について意見交換会を実施

女性が多様な働き方を実現し、活躍しやすい社会をつくるためには、働き方の改革が不可欠です。働き方改革とは、労働者の働きやすさを高め、生産性を向上させることを目指す取り組みです。働き方改革の推進には、労働者の働きやすさを高めるための施策や、男女の賃金格差の是正、具体的な福利厚生施策の必要性を指摘するなどの取り組みが重要です。また、「結婚、妊娠、出産、子育ての各ステップにおいて切れ目のない支援策の展開が必要であり、国において積極的に提言していききたい」と意欲を示した。労働人口が減少に向かう中、女性が働き続ける環境を整えることは地方にとって重要な課題だ。

働きやすい社会を作っていきます！ 働き方改革

未来へのチカラ vol.1
全ての女性が輝く社会を目指して
働き方改革を推進

4月28日、平成25年から委員となっているテレワーク推進特命委員会に出席し、提言とりまとめの最終確認を行った。情報通信技術を活用し、場所や時間にとらわれず働くテレワークは、ワーク・ライフ・バランスの実現や地域活性化の推進にも効果が期待されている。5月16日には和歌山県のITビジネスオフィスを視察するなど、精神的な活動を果たした。田畑は、町民や議会の理解浸透率など多様な働き方を導入している現場の声を聞いた。



▶テレワーク特命委員長の提言を
高市早苗総務大臣へ手渡す

2020年以降の 経済財政構想小委員会



▲2020年以降の経済財政構想小委員会設立総会。
小泉進次郎事務局長の趣旨説明

次世紀に向けた責任ある経済財政運営をもち、その時代を担う世代が活躍できる環境を創り上げるためには、今現在、どうすべきかを検討する。2020年以降の経済財政構想小委員会が30歳代、40歳代の若手議員20名によって党内に設置され、田畑はメンバーに選ばれ、今春以降、精神的に議論を進めている。「人生100歳時代」を見据え、長生きがリスクとはならない、安心して未来に進んでいける社会の実現を目指し、自助を基本に、共助・公助を適切に組み合わせ、持続可能な安心の基盤を再構築していく必要があるとの認識のもと議論し、中間とりまとめに至っている。今後、社会保障を含め最域を設けることなく、最終取りまとめに向けて今秋から議論を加速化させたい。

未来への一歩 PMDA北陸支部 始動!!

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 北陸支部 開所式に出席。石井隆一富山県知事と

「薬都富山」を発信する 新たな拠点の誕生

独立行政法人の医薬品医療機器総合機構 (PMDA) が富山県くすり政策課内に北陸支部を設置した。平成28年6月9日、富山市の県民開館にて開所式が行われ、田畑裕明は出席者約50人とともに「薬都富山」の新たな拠点の誕生を祝った。PMDAの近藤達也理事長、石井隆一富山県知事のあいさつのち、田畑も祝辞を述べた。

同支部には「アジア医薬品・医療機器トレーニングセンター」研修所が設けられ、GMP調査に関する研修を実施するための研修所を設置。主な研修メニューとして、国内研修では医薬品・医療機器の審査、安全対策、GMP (適正製造基準) 調査に関する業務、海外研修では、審査、安全対策に加えて個別にセミナー等の開催を予定する。平成28年12月には県内で初研修を行う。研修は5日間の日程で参加は20人ほどを見込み、県内の医薬品工場の視察などを予定している。

アジア全体のレベルアップへ

日本の規制等について、アジア規制当局担当者に積極的に発信し理解を促すとともに、アジア全体の医薬品・医療機器等の規制のレベルアップに貢献していくことを期待している。

誘致に向けて光った 党のチームプレー

今回のPMDAの一部機能の誘致にはこれまで田畑は実現を強く希望し、熱意を持って働き掛けを行ってきた。

平成27年11月には宮腰光寛自民党県連会長、橋本一郎衆議院議員 (現・復興副大臣)、野上浩太郎参院議員 (現・内閣官房副長官) らとともに、厚生労働省の二川一男事務次官と懇談し実現を強く要望。富山県以外にも5カ所からの要望があったが、田畑らの尽力が実り富山県が見事選ばれた。

PMDAとは?

世界にない 日本独自の トライアングル

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (Pharmaceuticals and Medical Devices Agency) の略称) は、特殊法人等整理合理化計画を受けて、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センター、医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構及び財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し平成16年4月1日に設立。医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り (健康被害救済)、医薬品や医療機器などの品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し (承認審査)、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う (安全対策) ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としている。

出典「独立行政法人医薬品医療機器総合機構 web サイト
https://www.pmda.go.jp/about-pmda/outline/0001.html」